

平成26年度草の根・人間の安全保障無償資金協力

スバイリエン州タナオ農協センター建設計画 完成式開催

2016年2月10日、平成26年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「スバイリエン州タナオ農協センター建設計画」（供与限度額：102,245米ドル）に係る完成式典が開催されました。同式典には、日本国大使館から藤本書記官が、また、カンボジア政府からはハオ・マシーン農林水産省長官が出席して祝辞を述べるとともに、地域の住民や関係者約200人が参列しました。

本プロジェクトは、スバイリエン州タナオ地区において、米を精米・貯蔵し有機肥料を製造するための農協センターを建設することで、タナオ農協が安定した価格で米を買い取り、ひいては住民の収入向上を図ることを目的とするもので、2015年3月に贈与契約が結ばれ、今年8月に工事が完了、この度の完成式典の運びとなりました。

式典では、藤本書記官が「日本国政府は、カンボジア国においては農業分野がGDPの約3割を占め、国民の半数以上が農業に従事しているという点で、国の経済・社会的発展のためには農業分野の発展が非常に重要だと理解しており、インフラ整備や技術協力を通して、カンボジア政府の農業振興に向けた努力を積極的に支援している。本案件で建設された農協センターの機能向上とともに、農民が収入を増やして、生活の質を改善することを期待する」と述べました。

続いて、ハオ・マシーン農林水産省長官は、「農業分野は国の経済成長に大きく貢献し、また多くの雇用を生み出している。今回の農協センター建設は、農業コミュニティと地域住民のニーズを満たすと思う。日本の支援により、タナオ地区の農業コミュニティ発展のために農協センターが建設されたことに心より感謝する」と述べました。

スピーチの後、テープカットが行われ、続いて農協センター内を見学し、式典は終了しました。



建設された農協センター



式典会場の様子



藤本書記官によるリボンカット



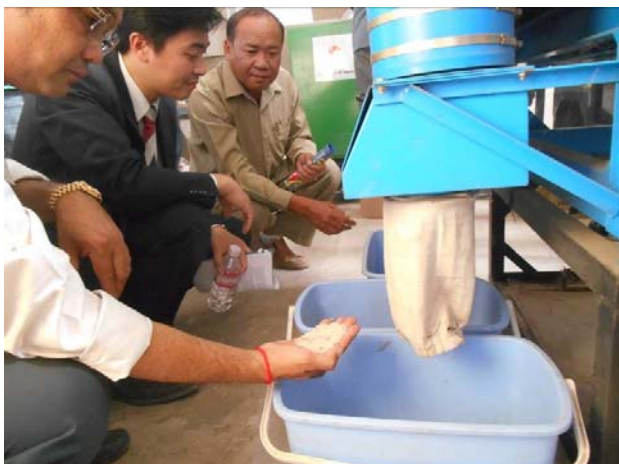
藤本書記官のスピーチ



ハオ・マシーン農林水産省長官のスピーチ



精米機の実演



精米機の実演



新しく設置された精米機